

岩見沢複合駅舎、平成21年度 北海道赤レンガ建築賞受賞

平成21年度（第22回）北海道赤レンガ建築賞の表彰式が、建築賞を受賞した「岩見沢複合駅舎」の建築主、設計者、施工者に対して道庁知事会議室で執り行われました。



受賞の言葉

施工者：岩見沢複合駅舎新築他工事共同企業体 代表者 札建工業(株) 代表取締役 小林 徳宏

この度は「平成21年度北海道赤レンガ建築賞」受賞という榮譽に浴し、大変光榮に存じます。このような受賞の機会を賜り、建築主の北海道旅客鉄道(株)関係者の皆様、岩見沢市関係者の皆様、設計者の(株)ワークヴィジョンズの皆様方、並びに岩見沢レンガプロジェクト事務局の皆様に、心より感謝申し上げます。岩見沢複合駅舎は、「複合駅舎」「南昇降棟」「自由通路」「北昇降棟」それぞれ異なる構造形式となる4棟で構成され、外部は鉄道の街・岩見沢の歴史を受け継ぐ素材として、カーテンウォールの部材に古レールを再利用し、内部はやわらかな光が漏れる透かし積みレンガとなっております。施工者として構造、意匠ともに、大変やりがいのある建物でした。

今後、この複合駅舎として生まれ変わった4代目岩見沢駅が、中心市街地活性化の核となり地域発展に寄与されますことを心より祈念申し上げます。